

海街 diary (Our Little Sister)

観賞日 2026年3月9日 上映時間 126分

【概要】

制作 2015年

監督・脚本 是枝裕和

原作 吉田秋生

音楽 菅野よう子

撮影 瀧本幹也

出演 綾瀬はるか (香田幸)、長澤まさみ (香田佳乃)、夏帆 (香田千佳)

広瀬すず (浅野すず)、大竹しのぶ (佐々木都)、樹木希林 (菊池史代)

堤真一 (椎名和也)、風吹ジュン (二ノ宮さち子)、リリー・フランキー (福田仙一)



【あらすじ】

鎌倉にある古民家風な一軒家。そこに暮らす香田家の三姉妹。長女幸は病院勤務の看護師、次女佳乃は地元の信用金庫の窓口係、三女の千佳はスポーツ店勤務。ある日、家族を棄てて家を出た父親の訃報がとび込み、三人は急遽山形に赴く。そこで、異母妹で中学生のすずに出会う。父を亡くしたすずは身寄りのない子になってしまったため、三人はすずを鎌倉に呼び寄せる。三姉妹が四姉妹となり四人の新たな生活が始まる。すずは早速地元のサッカーチームに入団、チームメイトの風太と仲良くなる。幸には小児科医で妻帯者の椎名、千佳にはスポーツ店の店長浜田という恋人がいる。佳乃は惚れやすい性格でいつも男に騙されてばかり。祖母の7回忌。三姉妹は家を離れた実母の都と久しぶりの対面をする。佳乃と千佳はすぐにうちとけるが幸は今でも都を許していない。アメリカに留学が決まった椎名から幸は妻と別れるのでついてきてほしいと頼まれるが、仕事と家族を選び椎名とは決別する。そして、すずもようやく自分の居場所を見つけ、三姉妹が真に四姉妹になる。

家族の形、あり方を追求する是枝作品。今回は鎌倉を舞台に家族を崩壊させた原因となった女の娘との共生と四姉妹の成長を描く。

【解説】

■ポイント

- 四姉妹：四姉妹を主人公にした代表的作品

題名	作者	ジャンル	公表時期
若草物語	ルイーザ・メイ・オルコット	小説	1868年
細雪	谷崎潤一郎	小説	1948年
阿修羅のごとく	向田邦子	TVドラマ脚本	1979年
海街 diary	吉田秋生	漫画	2006年開始

- 受賞 (2016年第39回日本アカデミー賞最優秀賞受賞)

12部門にノミネートされ下記4部門で受賞

作品賞、監督賞、撮影賞、照明賞

■見どころ

- 個性の違う四姉妹を演じた豪華女優陣

綾瀬はるか (長女・幸)：母親代わり。しっかり者で責任感が強いが、強情で柔軟性に欠ける

長澤まさみ (次女・佳乃)：自由奔放で男に惚れやすい。

夏帆 (三女・千佳)：マイペースで二人の姉に比べるとおとなしい。姉二人の緩衝材。

広瀬すず (四女・すず)：苦労しており、末っ子らしかならぬしっかり者

- 見慣れた鎌倉の風景

江ノ電沿線風景 (特に極楽寺駅近辺)、七里ガ浜、江ノ島